

(51)Int.Cl.<sup>5</sup>

G 0 3 F 1/00

識別記号

庁内整理番号

L 7369-2H

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1 F D (全 5 頁)

(21)出願番号 特願平5-105180

(22)出願日 平成5年(1993)4月6日

(71)出願人 593085602

笹本 善章

兵庫県姫路市田寺8丁目12-22

(72)発明者 笹本 善章

兵庫県姫路市田寺8丁目12-22

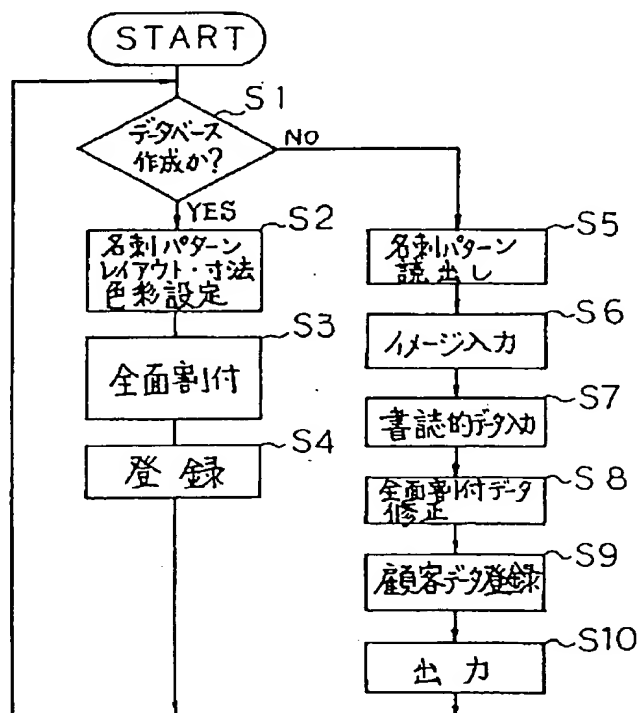
(74)代理人 弁理士 石井 久夫

(54)【発明の名称】 フルカラー写真入り名刺の作成方法

(57)【要約】 (修正有)

【目的】 小ロットのフルカラーの顔写真の入った名刺を安価に作成する。

【構成】 複数種のうちから選択した名刺パターンに、イメージ入力S6によりカラー顔写真を入れるとともに書誌的データ入力S7を行い、これを紙面割付処理に基づきコピー用紙寸法への全面割付S3を行い、該名刺パターン組合せをコピー用紙に同時にフルカラー静電写真印刷を行い、印刷済み用紙を名刺サイズに切断分割するようにした。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 予め作成された複数種の名刺パターンデータから所望のパターンを選択する工程と、  
 該パターンにイメージ入力によりカラー顔写真を入れるとともに書誌的データ入力を行う工程と、  
 該イメージ及びデータ入力したパターンを予め用意した紙面割付処理に基づきコピー用紙寸法への全面割付を行う工程と、  
 該全面割付された複数枚の名刺パターン組合せをコピー用紙に同時にフルカラー静電写真印刷を行う工程と、  
 該静電写真印刷済み紙を所定の名刺サイズに切断分割する工程とからなるフルカラー写真入り名刺の作成方法。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】 この発明は、小ロットのフルカラー写真入り名刺の作成方法に関する。

## 【0002】

【従来の技術】 名刺を作成する場合、凸版印刷、凹版印刷、平版印刷、スクリーン印刷等の各種の方法で印刷するのが一般的であるが、いずれの場合にも印刷用の版下を製作する必要がある。

【0003】 近年、営業用名刺には顧客に確実に覚えてもらえるように、顔写真を入れる要望が強く、しかもカラー写真であるのが好ましい。

## 【0004】

【発明が解決しようとする課題】 しかし、従来の印刷方法で名刺にカラー写真を入れる場合、色数に応じた多数の版下を製作し、色数だけ重ね印刷をする必要があるので、印刷作業が煩雑で非常にコスト高となり、100～200枚の小ロット印刷である名刺印刷には実際にはカラー写真を入れることはなかった。この為、写真に代え、似顔絵を入れる工夫も行われているが、写真入りのような特徴のある名刺とはなり難かった。

【0005】 この発明は、かかる問題点に鑑み、フルカラーの顔写真の入った名刺を安価に製造できるようにしたフルカラー写真入り名刺の作成方法を提供することを課題とする。

## 【0006】

【課題を解決するための手段】 そこで本発明に係るフルカラー写真入り名刺の作成方法は、予め作成された複数種の名刺パターンデータから所望のパターンを選択する工程と、該パターンにイメージ入力によりカラー顔写真を入れるとともに書誌的データ入力を行う工程と、該イメージ及びデータ入力したパターンを予め用意した紙面割付処理に基づきコピー用紙寸法への全面割付を行う工程と、該全面割付された複数枚の名刺パターン組合せをコピー用紙に同時にフルカラー静電写真印刷を行う工程と、該静電写真印刷済み紙を所定の名刺サイズに切断分割する工程とからなることを特徴とする。

## 【0007】

【作用】 本発明によれば、フルカラー静電写真印刷によって顔写真入りの名刺を作成するようにしたことから、従来のように、色数に応じた版下は不要であり、しかも重ね印刷を行う必要がない。

【0008】 静電写真印刷には原図が必要であるが、本発明ではオフィスコンピュータ等で予めデータベース化しておいた名刺パターンに顔写真のイメージ及び書誌的事項を入力しこれをコピー用紙寸法に全面割付を行い、該名刺パターン組合せデータを静電写真印刷機用のデータに変換し、これを原図データとして使用する。従って、データ入力によって静電写真印刷のできるフルカラー静電写真印刷機を使用する必要がある。

## 【0009】

【実施例】 以下、本発明を図面に示す具体例に基づいて詳細に説明する。図1ないし図5は本発明の一実施例によるフルカラー写真入り名刺の作成方法を示す。図1において、1はCRTを内蔵したコンピュータ本体10及びキーボード11からなるオフィスコンピュータ、2はイメージ読取り機能を有するフルカラー静電写真印刷機、3はオフィスコンピュータ1とフルカラー静電写真印刷機2との間における信号形式を変化する変換器、4は裁断用の切断機である。

【0010】 次に、図5の処理フローを参照しながら名刺の作成方法を説明する。まずオフィスコンピュータ1のキーボード11を操作してCRTの画面上で複数種の名刺パターン、例えば図2に示す名刺パターンP1～P3を作成する（図5のステップS1、S2参照）。即ち、CRTの画面上で名刺大の外枠取りを行い、外枠内にカラー写真を入れる領域a、書誌的事項、例えば会社名b、所属部署c、役職d、氏名e、住所f、電話番号g、FAX番号h、及びプロフィールiを入れる領域を枠取り設定し、又各領域a～iの寸法、各事項の色彩を設定する。プロフィール領域iには出身地、誕生日、星座、血液型、特技、趣味、好きな色、年令、家族、性格、資格等の個人的な情報を幾つか選択して小枠取りして入れる。但し、これらの枠取りは実際には用紙に印刷されない。また、必要に応じて用紙に印刷される装飾線、例えばプロフィール領域iの枠線を入れる。

【0011】 名刺パターンPが作成されると、同じくCRTの画面上で図3に示すように、作成した名刺パターンPを自動又は複写による紙面割付してコピー用紙寸法への全面割付を行う（図5のステップS3参照）。その際、切断時における切断の基準となるマークM、いわゆるトンボも入れておく。全面割付データが作成できると、該全面割付データ及びその基本となる名刺パターンデータを対応させてメモリに保存する（図5のステップS4参照）。このような操作を繰り返して複数の基本となる名刺パターン及び紙面割付のデータを作成しデータベースとして保存しておく。

【0012】 顧客の注文に応じて名刺の作成する場合、

複数の名刺パターンPから顧客の望むパターンを選択してCRTの画面上に読み出し（図5のステップS5参照）、フルカラー静電写真印刷機2で顧客のカラー写真をイメージ読取りし、その信号を変換器3で変換してオフィスコンピュータ1に入力し、選択した名刺パターンPの写真領域aに入れる（図5のステップS6参照）。次に、キーボード11を操作し、顧客の書誌的数据に基づいて会社名b、所属部署c、役職d、氏名e、住所f、電話番号g、FAX番号h及びプロフィールiを順次入力し、CRT画面上の名刺パターンPを修正し、同時に必要に応じて色彩の変更も行う（図5のステップS7）。なお、顔写真のイメージ入力はフルカラー静電写真印刷機2ではなく、専用のイメージ読取装置を設けてもよい。

【0013】顧客名刺パターンP<sub>n</sub>が作成できると、選択した名刺パターンPに対応する紙面割付データを読み出し、そのデータを予めプログラムしておいた紙面割付処理によって顧客名刺パターンデータに応じて自動修正し、コピー用紙寸法への全面割付を行い、CRT画面上でそれを確認した後、顧客の名刺パターンデータ及び顧客紙面割付データを顧客データとしてメモリに登録する（図5のステップS9参照）。最後に、コピー用紙の種類、例えば紙の厚み等を選択し、オフィスコンピュータ1から作成した顧客紙面割付データを出力すると（図5のステップS10参照）、変換器3で信号形式を変換されてフルカラー静電写真印刷機2に入力され、コピー用紙には全面割付された複数枚の名刺パターン組合せが同時にフルカラー静電写真印刷されるので、該印刷済み用紙をマークMを利用して切断機4で所定の名刺サイズに切断分割すると、製品である名刺を作成できる。

【0014】同じ顧客の同じ名刺を作成する場合には、登録した顧客データを直接読み出してフルカラー静電写真印刷すればよい。なお、基本となる名刺パターン及び紙面割付のデータを予め作成するのではなく、顧客名刺パターン及び顧客紙面割付データを順次作成して登録し、これを次の顧客の基本名刺パターン及び紙面割付の

データとして名刺を作成してもよく、又名刺パターンのみをデータベース化し、注文に応じて作成した顧客名刺パターンを予めプログラムした自動紙面割付処理にてコピー用紙寸法に全面割付して紙面割付データをその都度作成するようにしてもよい。

【0015】このようにフルカラー静電写真印刷によって顔写真入りの名刺を作成するようにしたので、迅速かつ簡単に名刺を印刷でき、従来の印刷方法のように多数の版下を不要とでき、しかも重ね印刷を行う必要がない結果、小ロットのフルカラーの顔写真入りの名刺を安価で作成できる。また、フルカラーの顔写真とともに、プロフィールを名刺に入れるようにしたので、個性のある営業に最適な名刺を作成できる。さらに、名刺パターンデータとともに、紙面割付データをもデータベース化して使用するようにしたので、注文に応じたデータ書誌的事項の入力が少なく、作業がより一層迅速にできる。

【0016】

【発明の効果】以上のように、本発明によれば、フルカラー静電写真印刷によって顔写真入りの名刺を作成するようにしたので、従来は作成困難であった小ロットのフルカラーの顔写真入りの名刺を簡単迅速にかつ安価で作成できる効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の実施例によるフルカラー写真入り名刺の作成方法に使用される装置を示す構成図である。

【図2】 上記方法における名刺パターンを示す図である。

【図3】 上記方法における紙面割付状態を示す図である。

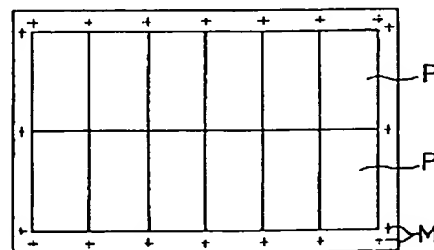
【図4】 顧客名刺パターンを示す図である。

【図5】 上記方法の処理フローを示す図である。

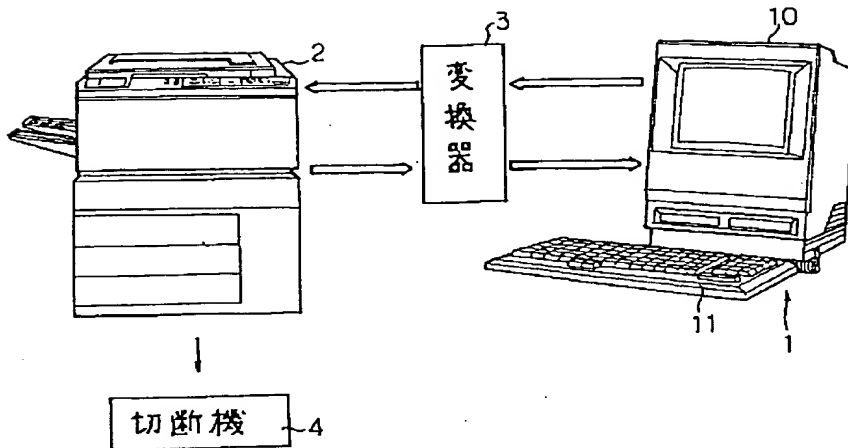
【符号の説明】

- 1 オフィスコンピュータ
- 2 フルカラー静電写真印刷機
- P 名刺パターン

【図3】



【図1】



【図4】

AB生命保険相互会社 瀬宮支部 甲南第一支部

支店長  
谷口 智行

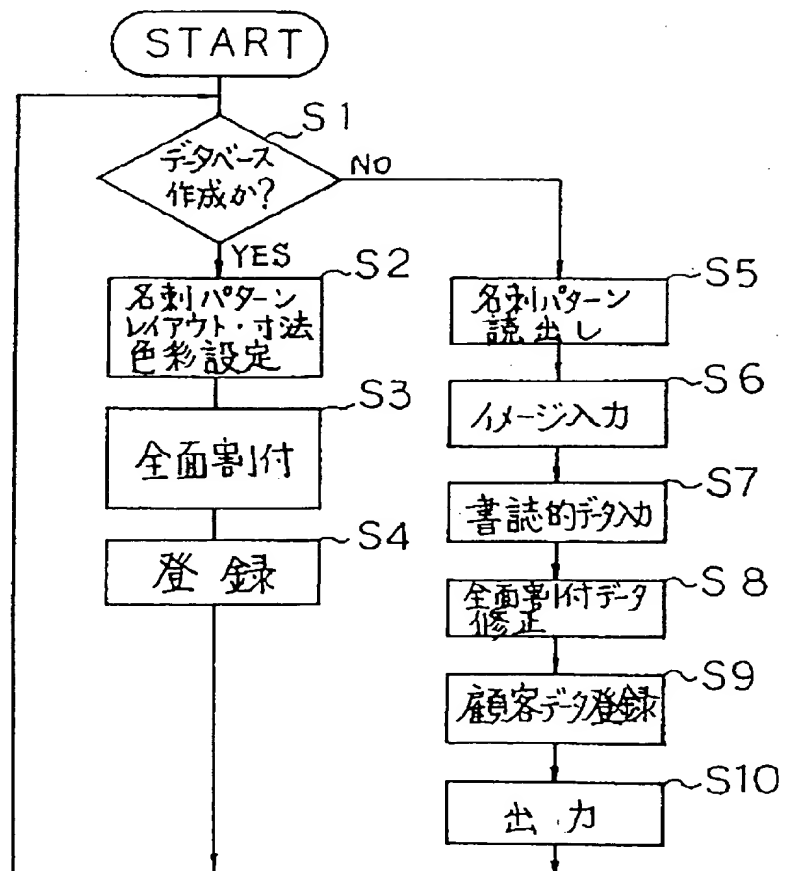
甲特第一支部 瀬宮支部 甲南第一支部 2-3  
TEL 078-412-1741  
支社 瀬宮市中央区所町10-9

〒707-8

出身地	長崎県
趣味	347
	(社内778)
所属	111 部
年齢	37才
家族	妻と子供2人

~Pn

【図5】



【図2】

